



2022年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年4月14日

上場会社名 株式会社エディア 上場取引所 東
 コード番号 3935 URL <http://www.edia.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)賀島義成
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)米山伸明 (TEL)03(5210)5801
 定時株主総会開催予定日 2022年5月25日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2022年5月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期の連結業績(2021年3月1日~2022年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期	2,494	1.0	123	—	113	—	108	—
2021年2月期	2,470	0.6	△23	—	△34	—	△80	—
(注) 包括利益	2022年2月期		108百万円(—%)		2021年2月期		△71百万円(—%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年2月期	17.66	15.39	13.3	7.0	4.9
2021年2月期	△13.25	—	△10.1	△4.0	△0.9
(参考) 持分法投資損益	2022年2月期		—百万円	2021年2月期	—百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円 銭	
2022年2月期	1,551	869	56.0	141.68	
2021年2月期	1,689	758	44.9	123.99	
(参考) 自己資本	2022年2月期		869百万円	2021年2月期	758百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年2月期	139	△9	△197	829
2021年2月期	13	△49	△114	896

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2023年2月期の連結業績予想(2022年3月1日~2023年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	12.3	150	21.7	140	23.0	130	20.3	21.21

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）: 無
 新規 社（社名）、除外 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 無
- ② ①以外の会計方針の変更: 無
- ③ 会計上の見積りの変更: 無
- ④ 修正再表示: 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期	6,128,000株	2021年2月期	6,119,600株
② 期末自己株式数	2022年2月期	96株	2021年2月期	96株
③ 期中平均株式数	2022年2月期	6,121,615株	2021年2月期	6,084,326株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年2月期の個別業績（2021年3月1日～2022年2月28日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期	1,192	△5.5	54	—	48	—	56	—
2021年2月期	1,261	△9.4	△101	—	△111	—	△154	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期	9.17	7.99
2021年2月期	△25.37	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2022年2月期	1,132		826		72.9	134.79		
2021年2月期	1,269		768		60.5	125.60		

(参考) 自己資本 2022年 2月期 825百万円 2021年2月期 768百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であります。なお、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループを取り巻く環境におきましては、2020年におけるモバイルコンテンツ市場は2兆6,295億円（対前年比112%）、中でもスマートフォン市場は2兆6,149億円（対前年比113%）と年々成長を続けております。スマートフォン市場の内、ゲーム市場が1兆5,288億円（対前年比109%）、電子書籍市場が3,946億円（対前年比137%）、動画・エンターテインメント市場が3,430億円（対前年比137%）、音楽コンテンツ市場も1,467億円（対前年比105%）と引き続き拡大傾向にあります（一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調べ、2021年7月現在）。一方で、当該ゲーム市場には多くのスマートフォンゲームが投入され、競争が激化しており、より高品質のゲームを投入するために開発費が増加する傾向にあります。また、電子書籍市場においても、インターネット上の小説等をコンテンツ化するビジネスモデルに多くの競合他社が参入しており、その作品確保の競争が激化しています。さらに、動画・エンターテインメント市場及び音楽コンテンツ市場においても、消費者ニーズの多様化に伴う構造変化に晒されています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大についても依然として予断を許さない状況であり、先行きの不透明感は払拭できていない状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは総合エンターテインメント企業として、エンタメIPの創出・取得とそれらのクロスメディア展開を加速させ、事業の多角化と収益力向上に注力して参りました。

当連結会計年度のIP事業におきましては、ゲームサービスにおいて、様々なイベントを通じて長期運営タイトルの安定推移を目指したものの、前連結会計年度比では売上が減少することとなりました。

一方で、オリジナルドラマCD『DIG-ROCK（ディグロック）』シリーズが引き続き人気を博し、CD販売に加えグッズ販売も好調を維持しております。

また、当社保有のレトロゲームタイトル「ヴァリス」を活用したクラウドファンディングを開始し、多くのファンの皆様から支援を受け、NintendoSwitch用ソフトとして提供を開始しました。「ヴァリス」以外のレトロゲームタイトルも欧米市場に向けてライセンスアウトするなど、海外からも注目を集めることができました。

さらに、グッズにおいては、オンラインくじサービスの『くじコレ』、新たに開始した女性顧客向けオンラインくじサービス『まるくじ』も人気IPとのコラボレーションを行うなど積極的に展開し、当社グループの収益に貢献いたしました。

出版事業におきましては、人気ライトノベルシリーズ・コミックシリーズの人気作の続巻、新シリーズ発売により堅調に推移しております。また、作品数の増加に伴い電子書籍売上が増加し、海外へのライセンスアウトによる収益も計上する等売上を伸ばしております。

BtoB事業におきましては、他社のゲームサービスのローカライズ及び運営受託、音楽制作受託、法人向け各種コンテンツ制作受託など堅調に推移しております。

以上の通り、既存運営ゲームタイトルの売上減少により、当連結会計年度の売上高は2,494,085千円（前連結会計年度比1.0%増）と微増、IP事業におけるライセンスアウトやドラマCD及びグッズ販売等、利益率の高い売上が大きく伸長したこと、また子会社本社移転によるグループフロア統合に伴い本社固定費用が大幅削減され、営業利益は123,253千円（前連結会計年度は23,535千円の営業損失）、経常利益は113,815千円（前連結会計年度は34,162千円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益は108,101千円（前連結会計年度は80,662千円の親会社株主に帰属する当期純損失）と利益は大幅な改善となりました。

なお、当社グループはエンターテインメントサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりませんが、当期首より当社グループの各サービス内容を以下のように区分しております。

サービス区分	主なサービス
IP事業	ゲームサービス ゲームアプリケーションの企画、開発、運営 ライフエンターテインメントサービス モバイル向け実用サービスコンテンツやアプリケーションの企画、開発、提供 音楽レーベルサービス ゲームやアニメ関連の音楽、ドラマCDの企画、制作、販売、配信 グッズサービス アニメやゲーム関連のグッズ等の制作、販売 IPのライセンスアウト
出版事業	ライトノベル、コミック等の出版物及び電子書籍の企画、編集、出版

BtoB事業	受託開発・運用、システム・アプリ開発、漫画動画の制作
--------	----------------------------

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における資産合計は1,551,676千円となり、前連結会計年度末に比べ138,039千円の減少となりました。これは主に現金及び預金が66,658千円、売掛金が31,590千円及び無形固定資産が27,206千円減少したことによるものであります。

負債合計は682,614千円となり、前連結会計年度末に比べ248,168千円の減少となりました。これは主に未払金が43,178千円、借入金が197,799千円減少したことによるものであります。また、純資産合計は869,062千円となり、前連結会計年度末に比べ110,129千円の増加となりました。これは主に当連結会計期間が当期純利益となり利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結事業年度末に比べ67,358千円減少し、829,018千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、139,263千円となりました。税引前当期純利益の計上106,544千円、売上債権の減少31,590千円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、9,095千円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出が5,315千円、出資金の払込による支出3,080千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、197,526千円となりました。主な要因は、借入金の返済による支出が197,799千円あったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期
自己資本比率 (%)	25.2	44.4	44.9	56.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	104.6	151.7	175.4	124.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	—	2.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	17.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

わが国経済の動向は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の進展や行動制限措置の緩和等による経済活動の一部持ち直しがみられ、継続的な回復が期待されるものの、オミクロン株による感染急拡大が経済活動に与える影響が懸念される直近の状況等を鑑みても、依然として先行き不透明な状況で推移すると予測しております。

2023年2月期は当社グループの新たな成長フェーズとし、IPサービスの世界進出、伸び率の高い出版・グッズ販売への注力、保有IPのクロスメディア展開の強化等、注力事業の深耕・拡大を目指して参ります。連結売上高

は2,800百万円（前期比12.3%増）、営業利益は150百万円（前期比21.7%増）、経常利益は140百万円（前期比23.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は130百万円（前期比20.3%）を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	896,876	830,218
売掛金	526,949	495,358
商品及び製品	45,107	43,909
仕掛品	10,894	9,433
原材料及び貯蔵品	69	78
前払費用	16,652	12,986
未収入金	26,544	23,010
その他	10,357	20,089
貸倒引当金	△19,969	△19,937
流動資産合計	1,513,482	1,415,147
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,358	0
工具、器具及び備品(純額)	2,532	4,844
有形固定資産合計	3,890	4,844
無形固定資産		
ソフトウェア	1,200	250
その他無形固定資産	16,000	12,000
のれん	51,861	29,605
無形固定資産合計	69,062	41,855
投資その他の資産		
敷金及び保証金	45,897	32,469
繰延税金資産	44,524	51,004
その他	12,859	6,354
投資その他の資産合計	103,280	89,828
固定資産合計	176,233	136,528
資産合計	1,689,716	1,551,676

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	153,721	172,020
短期借入金	286,250	136,250
1年内返済予定の長期借入金	44,987	39,526
未払金	153,134	109,956
未払費用	12,094	4,305
未払法人税等	13,987	3,318
未払消費税等	23,943	17,446
前受金	11,463	16,088
預り金	9,949	9,815
賞与引当金	11,896	11,974
情報利用料引当金	3,590	2,722
返品調整引当金	26,217	24,599
その他	—	3
流動負債合計	751,236	548,026
固定負債		
長期借入金	175,031	132,693
長期未払金	4,515	1,894
固定負債合計	179,546	134,587
負債合計	930,783	682,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,461,292	10,663
資本剰余金	1,460,145	728,911
利益剰余金	△2,162,532	128,759
自己株式	△117	△117
株主資本合計	758,787	868,216
新株予約権	145	845
純資産合計	758,932	869,062
負債純資産合計	1,689,716	1,551,676

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
売上高	2,470,556	2,494,085
売上原価	1,039,235	1,041,416
売上総利益	1,431,320	1,452,668
販売費及び一般管理費	1,454,856	1,329,414
営業利益又は営業損失(△)	△23,535	123,253
営業外収益		
受取利息	13	13
受取補償金	1,661	—
助成金収入	—	819
償却債権取立益	1,700	—
その他	1,101	610
営業外収益合計	4,475	1,442
営業外費用		
支払利息	11,443	7,845
新株予約権発行費	2,200	1,754
その他	1,459	1,280
営業外費用合計	15,102	10,880
経常利益又は経常損失(△)	△34,162	113,815
特別利益		
退職給付制度終了益	2,850	—
助成金収入	7,310	—
特別利益合計	10,160	—
特別損失		
事業整理損	61,305	—
本社移転費用	—	7,271
店舗休止損失	12,577	—
特別損失合計	73,883	7,271
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失(△)	△97,885	106,544
法人税、住民税及び事業税	6,281	4,922
法人税等調整額	△32,358	△6,479
法人税等合計	△26,076	△1,557
当期純利益又は当期純損失(△)	△71,809	108,101
非支配株主に帰属する当期純利益	8,853	—
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△80,662	108,101

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△71,809	108,101
包括利益	△71,809	108,101
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△80,662	108,101
非支配株主に係る包括利益	8,853	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	1,461,292	1,451,292	△2,081,870	△117	830,596	—	830,596
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	—	—	—	—	—	—	—
株式交換による増加	—	8,853	—	—	8,853	—	8,853
減資	—	—	—	—	—	—	—
欠損填補	—	—	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	—	—	△80,662	—	△80,662	—	△80,662
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	145	145
当期変動額合計	—	8,853	△80,662	—	△71,809	145	△71,663
当期末残高	1,461,292	1,460,145	△2,162,532	△117	758,787	145	758,932

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	1,461,292	1,460,145	△2,162,532	△117	758,787	145	758,932
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	663	663	—	—	1,327	—	1,327
株式交換による増加	—	—	—	—	—	—	—
減資	△1,451,292	1,451,292	—	—	—	—	—
欠損填補	—	△2,183,189	2,183,189	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	108,101	—	108,101	—	108,101
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	700	700
当期変動額合計	△1,450,628	△731,233	2,291,291	—	109,429	700	110,129
当期末残高	10,663	728,911	128,759	△117	868,216	845	869,062

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△97,885	106,544
減価償却費	77,327	19,806
のれん償却額	22,255	22,255
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,665	△31
賞与引当金の増減額(△は減少)	△925	77
情報利用料引当金の増減額(△は減少)	△664	△868
返品調整引当金の増減額(△は減少)	2,847	△1,617
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	601	—
退職給付制度終了益	△2,850	—
受取利息及び受取配当金	△13	△13
受取保険金	△1,661	—
支払利息	11,443	7,845
新株予約権発行費	2,200	1,754
助成金収入	△7,310	△819
事業整理損	61,305	—
本社移転費用	—	7,271
売上債権の増減額(△は増加)	△55,010	31,590
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,274	2,650
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,523	18,298
未払金の増減額(△は減少)	9,900	△43,178
その他	21,090	△6,050
小計	35,736	165,516
利息及び配当金の受取額	11	38
利息の支払額	△11,473	△8,003
法人税等の支払額	△25,134	△19,107
法人税等の還付額	5,066	1
助成金の受取額	7,310	819
受取補償金	1,661	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,178	139,263
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,189	△5,315
無形固定資産の取得による支出	△43,888	—
有形固定資産の売却による収入	2,343	—
出資金の払込による支出	△12,150	△3,080
敷金及び保証金の回収による収入	4,501	—
定期預金の預入による支出	△1,000	△1,300
定期預金の払戻による収入	2,400	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,984	△9,095

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△150,000	△150,000
長期借入れによる収入	130,000	—
長期借入金の返済による支出	△92,622	△47,799
株式の発行による収入	—	1,327
新株予約権の発行による収入	145	700
新株予約権の発行による支出	△2,200	△1,754
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114,677	△197,526
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△151,482	△67,358
現金及び現金同等物の期首残高	1,047,859	896,376
現金及び現金同等物の期末残高	896,376	829,018

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結貸借対照表関係)

有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
有形固定資産の減価償却累計額	41,009千円	26,061千円

当社グループにおいては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。連結会計年度末における当該契約に係る借入未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
当座貸越契約の総額	290,000千円	170,000千円
借入実行残高	246,250 "	96,250 "
差引額	43,750千円	73,750千円

保証債務

次の会社の金融機関等からの借入金に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
株式会社一二三書房	63,492千円	43,264千円

(セグメント情報等)

当社グループはエンターテインメントサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
1株当たり純資産額	123.99円	141.68円
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)	△13.25円	17.66円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	15.39円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	△80,662	108,101
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	△80,662	108,101
普通株式の期中平均株式数(株)	6,084,326	6,121,615

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	758,932	869,062
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	145	845
(うち新株予約権)(千円)	(145)	(845)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	758,787	868,216
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	6,119,504	6,127,904

(重要な後発事象)

該当事項はありません。